松戸運動公園他スポーツ施設指定管理者事業計画書（簡易版）

1.運営計画（1）運営における理念

松戸運動公園は、松戸市を代表する基幹運動公園として生涯スポーツ活動を通した市民交流の場としての役割と各種競技会が開催されることを基本構想として計画建設された施設であり、松戸三体育館は地域に密着した身近なスポーツ活動の場としての重要な役割を担っています。これらの趣旨を踏まえ、指定管理者として蓄積したノウハウとネットワークを最大限活かした施設運営に取り組み、効率的な一体管理の実現・設置目的の実現・市民ニーズの実現を目指し、以下の３項目を基本テーマとした安定的な管理運営を行います。

運営理念：「人・まち・地域を元気にする」

（2）運営方針

■３つの基本的なテーマ

施設の設置目的の基本概念に基づき「安心・賑わい・地域交流」の３項目を活動の基本テーマと掲げ、多彩な事業展開を図り「地域に根ざした健康・生きがい・コミュニティづくりの拠点施設」の実現を目指します。
① 安心・・・・地域の健康づくり拠点施設としての役割に貢献します
② 賑わい・・・市民のライフステージに応じた生涯スポーツ活動を推進します
③ 地域交流・・自然環境と調和した、地域に根ざした施設づくりを推進します

■当グループが目指す施設づくり

松戸運動公園他スポーツ施設を管理運営するに当たり、８つの活動指針を定め、民間企業の効率性・スポーツ専門企業のノウハウ・地元企業のネットワーク等、持てる能力を最大限に活用した管理運営を行い、地域に根ざした施設運営の実現に向け努力いたします。

８つの活動指針
① 施設の設置目的を果たす　②平等・公平な施設運営　③安全安心な施設管理
④ 地域との連携　⑤利用促進・収入増加　⑥効果的・効率的な運営　⑦環境への配慮
⑧公共性の理解

達成指標（スポーツと文化の定着の実現）
1．スポーツを通じてあらゆる世代が抱える健康問題の解消・緩和を目指します
2．公平・平等に利用できる体制を構築し、市民の苦情ゼロを目指します
3．指定管理期間（４年間）において、重大事故ゼロを目指します
4．スタッフの地元雇用比率９０％を目指し、地域産業の活性化にも貢献します
5．市民のライフステージに応じた生涯スポーツ活動を推進します
6．省エネルギー対策による光熱水費（使用量）の増加を回避します
7．省資源・省エネルギー等の環境負荷低減の推進と削減目標の達成を目指します
8．モニタリング評価により、利用者満足度８０％以上を獲得します

（3）施設の管理運営を希望する理由

少子高齢化の進展や健康意識の高まり、余暇時間の増大、生涯学習の普及によって、公共の健康増進・交流施設の果たす役割は増大しています。また、市民ニーズの多様化に伴い、より充実したサービスも求められています。その中で我々は、

1．施設の安全で効果的な管理運営を行う「施設マネジメント事業」
2．施設の利用者に専門的な指導を提供する「プログラム事業」
3．公共事業企画から管理運営までトータルサポートする「PPP コンサルティング事業」

を三本柱とした事業展開により、私たちが理想とする「皆が健康づくりに親しみ、ふれあいあふれる活き活きとした生活が送ることが出来る社会」の実現のために日々努力を続けています。当グループが、松戸運動公園他スポーツ施設の運営に引き続き関わることで、地域住民の方々の「元気と笑顔」を少しでも多く作り上げることができればと考え、松戸運動公園他スポーツ施設指定管理者の管理運営を希望いたします。

（４）市民の利用を促進する具体的な取組み

■平等利用の確保に対する考え方

施設の設置目的・役割を十分に認識し「条例・同施行規則」等の関係法令に基づいた管理運営、利用許可業務を行い、正当な理由がない限り（信条・性別・年齢・職業・社会的身分等）施設の利用を拒否・制限することはいたしません。

■ユニバーサルサービスの原則に基づくサービス提供

全ての利用者が施設を平等に利用できる環境を整備するため「ユニバーサルサービス７原則」に基づく接客教育・研修を行い、常に平等・公平なサービスを提供します。

■利便性向上への取組み実績

過去１４年間に渡り、取り組んできた様々なサービス向上・業務改善実績を下記に示します。

・**利便性の向上**・・・使用料の支払窓口の拡大、地下多目的室にアーチェリー場新設、トレーニング指導員・体育館に受付職員配置、園内コースライン引き（ランナーと歩行者の区分け）個人専用ロッカー設置、貴重品ボックス、コピーサービス、洋式トイレ設置、キッズコーナー設置、耳マーク、トレーニングマシン入替、ボルダリング新設、サーキットＴＲ導入
・**付加価値の向上**・・各種自主事業（フロア・プール）の拡充、自動販売機の設置、プール安全講習会の開催、近隣小学生の職場体験、防犯キャンペーンの実施、プール床面塗装等の施設環境の整備
・**情報ツール充実**・・施設ＨＰ運用、利用案内の刷新（英語表記）、月刊誌に施設情報掲載、デジタルサイネージによる情報提供（ｽﾎﾟｰﾂ・行政・防犯・地域情報）

■主なサービス向上策（市の施策の達成に向けた取組み）

松戸運動公園は市内のスポーツ拠点施設として「生涯スポーツの振興」「競技スポーツの振興」「スポーツ環境の整備」を推進する役割が高く、今後４年間において以下のサービス向上施策を軸に、積極的な地域スポーツ振興の活性化とスポーツ文化の定着を目指します。

【利便性を向上させるサービス】

１．開館時間の設定
利用者からの営業改善に関する要望が最も多かった、プール営業時間の変更を提案します。
提案事項・・３公開制の営業を９時から１７時の通し営業に変更し、いつでも利用できる施設環境を提供します。

２．開館日（休館日）の変更について
各体育施設が一斉に第４月曜日を休館日にすることで、運動の機会を失う市民も多いと考えます。次期指定管理期間において、各施設の休館日を以下の日程に変更し、利用機会の拡大・利便性の向上に努めます。
提案事項・・・柿ノ木台公園体育館：第１月曜日
松戸市小金原体育館：第２月曜日
松戸市常盤平体育館：第３月曜日
松戸運動公園　　　：第４月曜日（従来通り）

３．受付機能の向上（スポーツコンシェルジュ・予約システムを熟知したスタッフの配置）

４．健康運動サポートの充実（専属トレーナーの配置・初回者講習会の随時開催）

５．トレーニングルームのリニューアル（柿ノ木台公園体育館）
次期指定期間中に新規マシンへ入替る計画とし、機会損失の発生リスクを低減させます。

6．高齢者向けトレーニング機器を使ったサーキットプログラムの事業展開
松戸運動公園休眠スペースを活用し、サーキットトレーニング（ラウンドフィットネス：商標登録）を新規導入し、高齢者や障がい者の多様な運動参加の場づくりに貢献します。

7．各種スポーツプログラムの充実（フロア・プール）

8．プール安全講習会の開催
平成２８年６月に松戸市内学校関係者約５０名を対象にプール安全講習会を開催しました。私たちは、これらの事故防止啓発活動を今後も継続的に開催します。

9．松戸市強化選手サポート制度の導入（検討事項）
松戸市が定める特別強化選手・基礎強化選手を対象に、本施設のトレーニングルームを無料で利用できる**「松戸市強化選手サポート制度」の導入**を新たに提案いたします。

10．スポーツ環境の整備（熱中症対策：屋外施設にミストシャワーの設置）
屋外施設にミストシャワーを設置し、熱中症の予防対策に積極的に取り組みます。

11．施設の混雑状況をリアルタイムで情報提供できるシステムを導入（ネコの目システム等）
トレーニングや駐車場の空き情報を常に情報配信し、利用機会の損失防止に努めます

12．子供の居場所づくりへの取組み（放課後子どもプラン）
放課後の時間帯を中心に子供向け教室（小中学校のダンス必修化：ヒップホップダンス）を開催し、子どもの体力・居場所・仲間づくりに貢献します。

13．クライミングウォール（ボルダリング）の事業展開
新たなスポーツニーズを喚起し利用促進を図るため、**クライミングウォールボルダリング**の事業展開を図ります。

14．障がい者・高齢者・子育て世代への取組み
高齢者等を対象に「生活筋力向上ゆっくりプログラム」の開催や子育て期の主婦層を対象とした託児つき教室の開催を検討します。

（５）施設の維持管理体制

■維持管理の５つの基本テーマ

① 安全を優先にした維持管理を実施します　②効率的な維持管理を実現します
③ 施設の機能性向上を目指します　　④長期耐用化・長寿命化が図れる維持管理をします
⑤ 多方面からのサポート体制を確立します

■施設特性を理解した維持管理
定期メンテナンス及び保守点検・法定検査は、利用者の利用機会を阻害しないよう、原則休館日に設定し、開館日の場合は早朝や夜間に実施します。経済性を重視することによる安価なコストダウンを避け、建物の設置目的や用途に合わせた維持管理水準を十分検討し、計画的に実施します。

■市内事業者と連携による運営
市内事業者のうち、現在まで当該施設の管理業務・備品納入実績等がある事業者については、管理経験上のノウハウ、危険予測・不具合箇所の見地、調達品における安定供給などの面を考慮して原則継続した発注を検討しています。

■施設設備の長寿化への対応
設備機器における故障等の発生を未然に防ぐため、予防保全を基本とした業務計画を作成し、ＰＤＣＡサイクルを取り入れたＬＳＣ（ライフサイクルマネジメント）を実施します。

■維持管理費適正化への取組み
マルチジョブシステムによる業務効率の向上や各種設備機器のエネルギー管理による効率的な設備運転、自主的な取組みによる電気使用量の削減に積極的に取り組んでいます。

松戸運動公園他スポーツ施設指定管理者事業計画書（簡易版）

（６）利用者からの意見、要望等の把握及び対応

■意見・要望把握の具体策

定期的な「利用者満足度調査・利用者アンケート」の実施により、オペレーション方法の検討や見直しを行うなど、常に迅速な対応を心掛け、市民の評価を高めていきます。

■モニタリングの実施

・指定管理者自らの履行・業務水準の確認（セルフモニタリングの実施）
・松戸市による立ち入り検査（行政モニタリング）
・第三者による定期的なサービス評価（専門機関による外部モニタリングの実施）

（７）緊急時の対応

■安全管理マニュアル

利用者の事故やケガ・盗難・自然災害・設備事故・個人情報の漏洩等への事前対策として、「松戸運動公園他スポーツ施設・安全管理マニュアル」を策定し、運用を行います。

■危機管理体制

総括責任者を危機管理責任者とし、緊急時における情報管理や対処（収集・判断・指揮）の流れを一元化することで、混乱の無い対応を実現します。

■多方面からのバックアップ体制の構築（緊急時の対応）

不測の事態には、管理スタッフが一時的な対応をし、更には近隣管理施設からの応援、第三者委託（協力）業者などのバックアップ（二次対応によるトラブル補完）により、迅速に対処します。代表企業は、市内管理施設（和名ヶ谷スポーツセンター等）など複数個所から１０分以内に現場に急行できる位置にあり、有事の際の強力なバックアップとなります。

■その他、施設安全管理対策

・ＡＥＤの設置（運動公園３・新松戸プール１・栗ヶ沢１・小金原１・常盤平１・柿ノ木１）
・ＡＥＤ受講者で組織構成（全スタッフ対象）　・地域と連携した防災訓練の実施
・各種保険加入によるリスクの最小化

■対象施設での感染症対策について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本年３月より市民の安全を考慮し、市と指定管理者の協議のもと全館休館の措置をとり、２週間単位で段階的な制限緩和を判断することを前提に運用方法を定めていきました。

・６／１～屋外施設再開 ⇒ ６／１０～屋内施設再開 ⇒ ８／１屋外プール再開

（８）個人情報の保護に対する対応

■個人情報の取扱いに関する基本方針

私たちは、行政の代行者という自覚の基「個人情報保護法」及び「松戸市個人情報保護条例及び条例施行規則」を遵守し、代表企業が認証を受けている「プライバシーマーク」に即した手順・マニュアルの整備を行うことで、管理体制の水準維持・向上に努めます。

■個人情報保護管理体制について（個人情報保護マネジメントシステム）

個人情報の適切な取扱いを行うため、法令に遵守した対応と情報漏洩や外部からの不正アクセス等によるデータ破損・盗難・改ざん等のリスクを十分に理解した上で、防止策・対応策を検討します。

２.運営体制と組織（１）簡素化された役割分担と組織体制

指定管理者制度事業（適応事業）において、施設の運営維持管理業務を簡素化させ、効率的な運営が出来る体制を整えました。シンコースポーツ(株)が代表企業を務め、構成団体の（一財）松戸市スポーツ協会は維持管理業務全般を担当する計画とします。また、前回の公募に引き続き、市内に業務実績を有する市内事業者と確かなパートナーシップのもと当該事業の運用に取組み、施設機能を最大化することを約束します。

■配置候補者（総括責任者・副総括責任者・施設責任者）
配置候補者は、本施設の現総括責任者として従事する職員を引き続き選任します。

■職員配置
松戸運動公園に総括責任者１名、武道館総合受付２名、体育館受付１名、トレーニング１名、陸上競技場・野球場２名、栗ヶ沢公園庭球場１名、柿ノ木台公園体育館３名、小金原体育館２名、常盤平体育館２名の計１５名体制にて運営に取り組みます。
プールシーズンには、１８名（２施設）を増員し、最大３３名体制にて業務を実施します。

（２）雇用条件

■市内在住者の雇用について
現在、グループ全体で８３名の施設職員を雇用し、うち６５名が市内在住者となります。今後も地域への愛着が強いスタッフ採用を推進します。（地元雇用率７８％）

■人材育成（研修）について
雇用決定後、当グループにおいて ①教養研修 ②専門研修を行います。基本研修終了後は現地にて研修担当者同行のもと ③実地研修（OJT）を行います。

①教育研修（一般研修・マナー研修）年４回　②専門研修（技術研修・部門研修）年４回
③実地研修（フォローアップ研修）年４回

３.施設運営に関する提案（１）安心・安全面からの管理運営の取組み

■新型コロナウイルス感染防止対策
①施設のＨＰ等で呼びかけを行い、体調が優れない時は来館を避けるよう広く周知
②施設利用時には「施設利用同意書」の提示を義務付け、二重の感染防止対策
③マスク着用、手洗いのご協力と施設毎に利用規制を定め、入場人数の調整にご協力依頼
④自宅でも体を動かし運動不足解消ができるよう、施設ＨＰにオリジナル運動(動画)を配信

■経理システム
当グループの経理システムは、企業会計とは別に独立した会計帳簿類を経理規程に基づき代表企業が作成管理し、事業年度毎に松戸市へ報告を行います。また、指定管理料は企業管理口座とは別に代表企業名義で新たに開設し、管理運営します。これらの経理システムは、松戸市のモニタリング以外にも社内モニタリングを定期的に実施します。

■地域との連携
松戸市内及び県内の類似施設と積極的に接触を持ち、更には代表企業が現在指定管理者として管理運営を行う同様の体育施設と連携を図り、スポーツ振興の活性化と地域住民の生活水準の向上に貢献して行きたいと考えます。

１.市内在住者の雇用　２.高齢者・障がい者の雇用　３.障がい者団体との連携
４.市内調達の促進　５.施設運営協議会の開催　６.ボランティア活動の支援
７.地域イベントへの支援・協力　８.地域保健センター等との連携　９.近隣小中学校との連携
10.近隣警察や消防署との連携　11.情報コーナーの設置　12.プロスポーツ団体との連携 等

４.その他自由提案（１）自主事業の取組みに関する考え方

私たちは「スポーツ振興・健康づくり」「いきがいづくり」「きづなづくり」の３つのテーマにフォーカスした自主事業を（一般利用者への影響を配慮した）実現的な計画で展開していきます。また、市民ニーズの変化に敏感に対応して随時内容の更新を図り、いつでも利用者に喜ばれる教室展開を図ります。

私たちは、自主事業を利潤追求事業ではない CSR（社会的責任）活動と位置付けており、事業への参加料は低価格を中心に設定し、今まで興味のなかった人々に目を向けてもらうためのきっかけづくりやリピーターづくりの手段としての意味をもった、バラエティー豊かで気軽に参加することのできる事業展開を年間通じて計画しています。